

## 発掘途中の遺跡を見学

### 第1回伊都国飛び出せ博物館

6月5日、伊都国飛び出せ博物館を開催し、およそ20人の歴史ファンが参加しました。

糸島は古代遺跡の宝庫ですが、なかなか一般人が遺跡を訪れる機会はありません。そこで、発掘途中の志摩井田原開古墳を実際に訪れ、見学しようと企画したものです。

ミカン畑だったこの古墳は全長100mに迫る大きい前方後円墳。発掘により、その規模と年代を調査中です。実際の現場を見た参加者から盛んに質問が飛び出していました。



調査で出土した埴輪(はにわ)の説明などを熱心に聞く参加者たち

## 元気な歯で心も体も健康

### 8020表彰なども行われる

糸島歯科医師会は6月5日、伊都文化会館で「歯の健康のつどい」を開催。小さな子どもたちを中心にたくさんの方が参加しました。

この日は、80歳以上で自分の歯が20本以上あるお年寄り(8020)や虫歯のない健康な歯を持つ子どもの表彰も行われました。

また会場には、歯の健康診断や相談のほか、歯のたいせつさをテーマにした寸劇、歯磨き指導コーナーなども設けられ、親子連れなどで会場は大にぎわいとなりました。



音楽に合わせて上手に歯磨き……子どもたちに、やさしく歯磨き指導

## 夏野菜パラダイス

### 親子で野菜作りに挑戦

6月6日、伊都国ファームパークの畑で親子一緒に参加できる野菜作り体験が行われました。参加した子どもたちは、初めての体験ということもあり、目を輝かせながら、キュウリやナス、オクラ、ズッキーニなど、夏野菜の苗を畑に植えていました。

今回は野菜の収穫となっていますが、その間も畑に足を運び、野菜の成長ぶりを日記に記録しようという意気込んでいました。



8月には大きな野菜が実ることでしょう

## 泉川の自然は「いとしま」の宝

### はまぼうの会で講演会を開催

泉川・雷山川下流一帯は、6月下旬から7月にかけてハマボウが満開となります。有数の群落で、両岸に730本が確認されています。

志摩健康福祉センターで6月5日、泉川はまぼうの会による講演会が開催され、講師の山本廣子さんから、和自干潟の自然と環境保全活動などがスライドで紹介されました。

泉川一帯は、自然環境が良好に保たれ、ハゼやエビ、カニ類などが多く生息し、河口付近はカブトガニの産卵も確認されています。



和自干潟に飛来する鳥などの生き物やそれらを守るための活動が紹介されました

## 新しい仲間との出会い

### ドリームトレイサー2010

6月5・6日の2日間、今宿野外活動センターでドリームトレイサーの開講式と高祖山登山を開催。29人の小学生が参加しました。

初顔合わせで、最初は不安そうなお子どもたちでしたが、規律訓練や野外調理、レクリエーションなどを元氣いっぱい楽しみました。

今年も天気に恵まれ、全員で高祖山に登ることができました。また、中・高生のジュニアリーダーやボランティアスタッフも参加し、子どもたちをサポートしていました。



元氣に規律訓練に取り組む子どもたち

## 糸島の山の避暑スポット

### 白糸の滝で滝開きが開催

ひんやり涼風——6月12日、県指定名勝「白糸の滝」で滝開きが行われ、家族連れなど、多くの観光客でにぎわいました。

オープニングセレモニーでは、地元の太鼓グループ「滝飛沫」による力強い演奏のほか、もちまきも行われ、大にぎわいとなりました。

この日は蒸し暑く、そうめん流しには長蛇の列。また川辺には、ヤマメ釣りや水遊びをする子どもたちの姿もあり、初夏の楽しいひとときを写真に収める家族の姿も目立ちました。



滝飛沫の太鼓演奏が滝開きのセレモニーを盛り上げました